

# 上京

## 史蹟と文化

---

2009 VOL. **36**



# 美を創る



大蔵流狂言師 十二世

茂山 千五郎

上京区中筋通石薬師上る大猪熊町



茂山家の稽古舞台に掲げられている数々の賞状を見ると、千作・千五郎の名前が並び、二代・三代にわたる累代の栄誉を知ることができる。当然のことながら同一人の名前ではなく代々受け継がれてきた名跡なのである。国家や公的な団体から狂言に対して、このような多くの栄誉が与えられてきたのは近年のことであるようだが、その流れは代々の茂山家につちかわれてきたものといえよう。

茂山家は大蔵流の狂言師として、江戸時代には彦根藩の井伊家に抱えられてきたのであるが、明治以後、大名の庇護を離れるとともに、能のあ間狂言に飽き足らず、独自の狂言を展開してこられたという。社寺での奉納や学校巡りというような武家の式楽からは遠のいた狂言に変化していった

ことが一般に好まれる狂言となったのであろう。

そこに「お豆腐狂言」といわれる由縁がある。当初はどこへでも出掛けていくというので、どんな料理にも間に合う豆腐のようだといわれた悪口を逆手に取って、どこでも演じられる狂言という意味で、お豆腐狂言を名づけたのだと千五郎師は強調されている。

十三世茂山千五郎師は、昭和二十年、十二世千五郎師（現千作）の長男として生まれ（本名正義）、四歳で「以呂波」のシテで初舞台を踏み、昭和三十六年に「三番三」、四十一年には二十歳で「釣狐」を披いて以来、狂言会の活性化をめざして活動を広げて来られた。茂山家一族の勉強の場であるとともに、新しい世代の観客の掘り起こしをねらって「花形狂言会」を発足させ、弟真吾（二世七五三）、従兄弟あきらの各師とともに主宰して来られた。

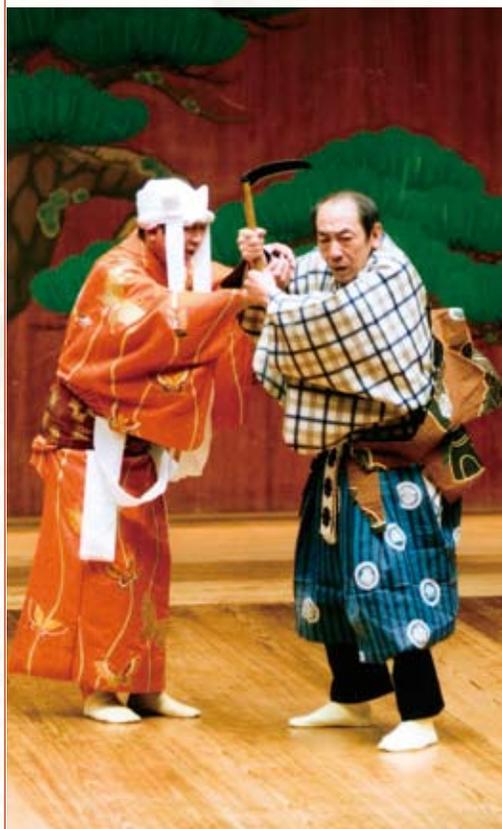
古典狂言のほか、木下順二作による「木竜つるし」、小松左京作のSF狂言「狐と宇宙人」、帆足正規作の「死神

や、千年ぶりの復曲という織田正吉作の「袈裟求」など、数々の新作狂言に取り組まれている。また国立能楽堂での復曲「麻生」では、父千作と共演して、舞台上で髪を結う珍しい演技を



披露された。さらに、ヨーロッパ・アメリカ・東南アジア等、海外公演にも多数参加しておられる。

昭和六十一年には、「京都市芸術新人賞」を受賞、日本能楽会に入会し、「重要無形文化財総合指定保持者」に認定されている。平成六年に「十三世茂山千五郎」を襲名、父千作師をはじめ八十歳台から二十歳台に至る一族十一名と門人を含めて二十三名の総帥として、京都だけではなく世界に通じる狂言を伝承しておられるのである。平成十六年には「京都府文化賞功労賞」、二十年には「京都市文化功労者」、さらにこの年「文化庁芸術祭大賞」を受賞され、狂言界初の文化勲章を受けられた父四世千作師の後嗣として、ますますのご精進を祈るものである。



狂言 鎌腹

# 大 路 小 路

おおじこうじ

上京の史蹟 その18

## 智恵光院通

智恵光院通り  
Chiekoin dori

### 智恵光院通

智恵光院通の北端は、北大路通に面した大徳寺の総門に始まりま  
す。通りの名は一条通上にある  
智恵光院によることはいまでも  
ありませんが、実際には寺之内通  
で東へ六〇メートルずれて南下し  
ます。そのまま南へのびる道は、  
上立売通で本隆寺の土塀に突き当

たり、その北側には西陣聖天と呼  
ばれる雨宝院があります。このあ  
たりまでは大徳寺への参道のよう  
な役目を果たして来たと思われま  
す。

寺之内通から南へ、丸太町通ま  
で幅十一メートルの広い道路とな  
りますが、これは昭和二十年の強  
制疎開によるものです。明治末年  
の地図を見ますと下立売通で止  
まっています。現在では丸太町

通まで全く新しい道路ができてい  
ます。一条通で少し西へずれてい  
ましたので、東側を削ったり、西  
側を広げたりしたため、今のよう  
な直線道路になりました。そのた  
めに下立売通のところでは、道路  
の真ん中に島のように交番が建っ  
ていたりするのです。

芦山寺通上にある真教寺のと  
ころからが上京区です。この寺は  
浄土宗鎮西派、松久山と号し慶長  
四年（一五九九）僧典故の開基で、  
その時は天台宗延暦寺の末寺でし  
た。この付近は千本廻りと呼ばれ、  
維新前は栗田の青蓮院などの領地  
でした。

寺之内通の少し南から上立売通  
あたりまでを鹿子屋辻子といいま  
す。ここにつながる東西の通りに  
は、大宮通との間に、伊佐殿辻子  
と観世辻子、伊佐殿辻子の西には  
聚楽辻子があります。これら辻子  
は平安京の北端から北へ伸びてき  
た縦通りや、それらをつないだ横  
通りに名づけられたものなので



真教寺

### 本隆寺と 首途八幡宮

す。この南、五辻通と今出川通の  
間にも桜井辻子があります。

上立売通の南西角には、古瓦を  
埋め込んだ美しい土塀が続く本隆  
寺があります。法華宗真門流の総  
本山で、山号を慧光無量山、寺名  
を本妙興隆寺といい、略して慧  
光山本隆寺というようになりま  
した。妙顕寺日具の弟子であつ



本隆寺土塀



本隆寺本堂



首途八幡宮

た日真が本迹勝劣を強調して師ほんしやくよれつから分立して室町時代の長享二年（一四八八）、六角西洞院の草庵に題目釈迦多宝仏を安置して開創し、翌延徳元年（一四八九）に四条大宮に堂宇を構え、京都法華二十一本山の一つとして栄えます。しかし天文法華の乱（二五三六）で延暦寺の宗徒に焼打ちされ堺に逃れますが、天文十一年（一五四二）に堀川一条で再興、天正十二年（一五八四）に豊臣秀吉の市街地改造により現在地へ移転しました。その後、享保

十五年（一七三〇）の西陣焼けや、天明八年（一七八八）の大火に遭いますが、幸いに明暦三年（一六五七）に建てられた棟札を有する本堂は焼け残り、その後には再建した祖師堂とともに京都府指定有形文化財となっています。大火を免れたのは本堂に安置されている鬼子母神きしぼじんの靈験によるものとして不焼寺ふせうでらといわれました。そのほか方丈・鐘楼・宝蔵・三十番神堂などの建物が整っています。祖師堂前そしぞうまへにある夜泣止よなきどめの松は、皮や松葉を枕の下に敷くと幼児の

夜泣きがやむとされますが、それは第五世日諦が一人から幼児の養育を依頼され、夜泣きをして困ったので、題目を唱えながら松の木を廻ると泣き止んだという靈験に由来するとされます。また本堂前の千代野井は、無外むがい如大尼にょだいに（千代野姫）が満月の夜に、この井戸の水を汲んでいたところ桶の底が抜けて月影が水の中に消えたのを見て悟りを開き仏道に入ったという由緒が伝えられています。今出川通へ出る少し手前の西側に首途八幡宮かどでがあります。昔は広

新・古茶道美術品  
**清昌堂**  
**やました**

---

京都店・京都市上京区小川通寺ノ内上ル  
 〒602-0061 TEL (075) 431-1366  
 FAX (075) 431-1370

東京店・東京都新宿区市ヶ谷甲良町1-8  
 〒162-0856 TEL (03) 5261-4566  
 FAX (03) 3235-5677

和料理  
**天ぷら**

天 壽

京都市上京区千本通今出川上ル西側  
 電話 (七五) 461-4146 番  
 四一四七番



源義経首途の碑

三月三日の夜明け、十六歳の義経は鞍馬山から金売橋次の屋敷へやって来ました。貞享元年（一六八四）に

大な境内地であったと思われますが、現在はこれが西陣の市街地の中かと思わせるような細長い石段を登った奥深いところに社殿があります。祭神は宇佐八幡宮を勧請した八幡三神で、もとは内野八幡宮と呼ばれました。この地は桃園宮跡とされ、内野とは平安宮内裏が廃墟となった野のことで、もとはそのあたりにあったのかと思われます。

また平安時代の末、奥州の商人、金売橋次に伴われて奥州平泉の藤原秀衡のもとへ旅立った源義経が首途を祈ったので、首途八幡宮と称されるようになったとされます。時に承安四年（一一七四）

出版された黒川道祐の名著『雍州府志』には「橋次の井は西陣五辻南桜井辻子に在り。相伝ふ、此処、売金商橋次末春之宅地也。此の井、大面水又清冷也。源義経、橋次東行に従ふ時、此処より首途す。（読み下し）」とあって、ここに橋

次の屋敷があったと推定しています。義経の首途から八三〇年後の平成十六年に「源義経奥州首途之地」の碑が建立されました。

## 智恵光院

笹屋町通下るにあって、通り名となった智恵光院は、称念山平等寺と号する浄土宗の寺院で、五



智恵光院本堂

撰家の一つ鷹司家の始祖である撰政関白太政大臣の兼平が永仁二年（一二九四）に自らの家の菩提寺として如空（如一国師）を開基として創建しました。当初は今の岡崎の地にありましたが、いつの頃にか現在の地に移ったといわれています。

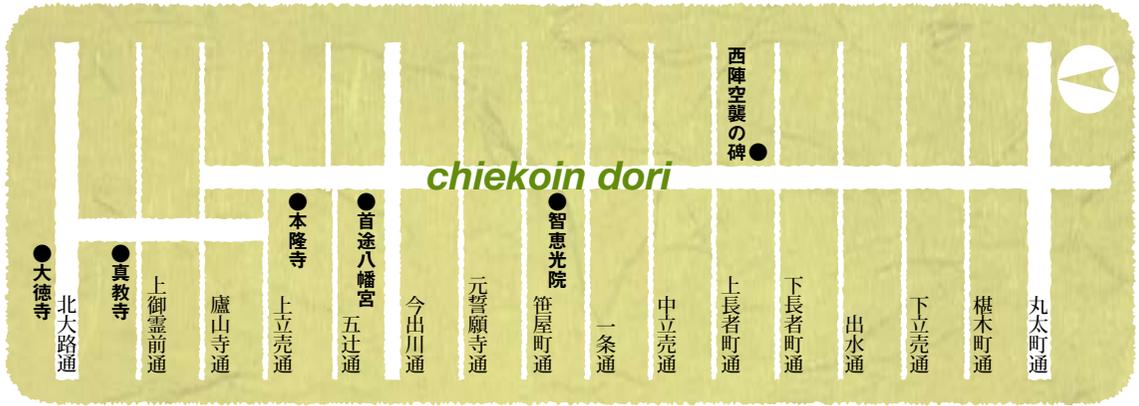
京都七光院の一つとして栄えましたが、西陣焼けと天明の大火に類焼し、その後再興されたものの、昭和二十年の強制疎開で塔頭四院

が廃寺となりました。本尊阿弥陀如来像を安置する本堂は安政二年（一八五五）の再建、地藏堂には小野篁が作ったと伝える六臂地藏を安置、ほかに弁財天像を安置した小堂があります。

一条通から南は聚楽第の跡地になります。須浜池町・山里町・下山里町・須浜町・西辰巳町・天秤丸町は、いずれも聚楽第の建物や堀などに因む町名で、遺構が発見されにくい聚楽第の往時を偲ばせてくれます。

## 西陣空襲

智恵光院通で忘れてはならないのは、昭和二十年六月に発生したB29による爆弾の投下でしょう。その場所は下長者通上にある今の辰巳児童公園なのです。平成十七年八月に空爆被災を記録する碑の建立委員会によって公園の一隅に碑が建立されました。その碑文を転載して悲惨な空襲を思い返



してみたいと思います。

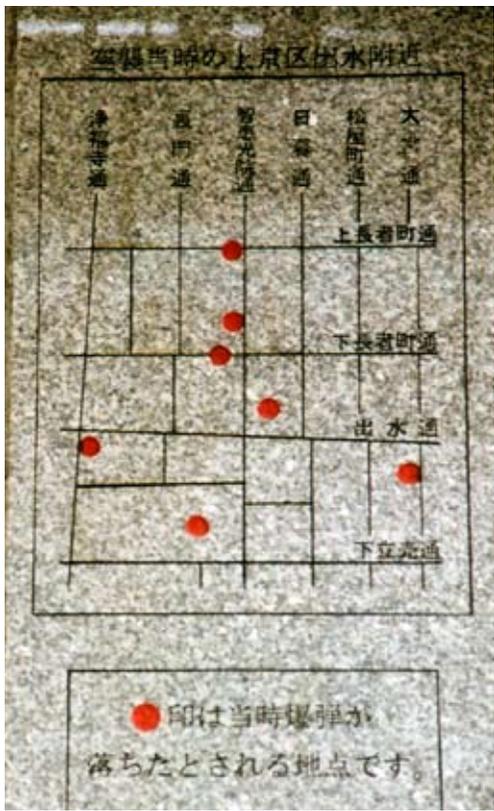
「昭和二十年（一九四五）六月二十六日昼前、低い雲の上空に敵機B29の爆音が近づき、突然に轟然たる爆発音とともにすさまじい土煙が上がった。この時の被爆は上長者町通より南は下立売通、東は大宮通、西は浄福寺通に至る方四百メートルの地域で、当時の報告には五十キロ爆弾七発とも五発とも言われた。

報道管制のため、その状況は、多くの市民の知るところとならな

かったが、西陣警察署の記録によると

- 一、死傷者 即死四十三人 重傷 十三人 軽傷五十三人 計百九人
- 二、被害家屋 全壊七十一戸 半壊八十四戸
- 一部損壊百三十七戸
- 計二百九十二戸
- 三、罹災者 八百五十人であった。（以下略）

京都では、ほかにも東山区の馬町と太秦の三菱工場が爆撃されま



西陣空襲の碑

したが、西陣の空襲は最も大きな罹災でした。

このあたりから最近表示された平安宮の遺跡をたどるうちに二条城に達します。

（出雲路敬直）

訂正とお詫び

■前号（三十五号・平成二十年八月十五日発行）の訂正について  
前号（三十五号）の記事中、五ペー  
ジに掲載しました「中村宗哲家住  
宅」の写真は、誤りでした。正しい  
写真は左のとおりです。お詫び  
して訂正します。

御迷惑をおかけしました中村家  
並びに近隣の皆様には深くお詫び  
申し上げます。



中村宗哲家 住宅

# 上京の埋蔵文化財

## —平安宮太政官跡の調査—

### 【太政官】

だじょうかん だいじょうかん  
おおいまつりごとのつかさ

太政官は、古代日本の律令政治を行う全ての機関を指揮する最高官庁でした。神祇官・八省（中務省などの役所）・彈正台の頂点に位置し、天皇に直接要請することのできる権限を有していました。

太政官で決定された内容が各機関および地方へと伝達されました。その組織は、太政大臣をトップに、左大臣、右大臣、大納言などで構成されていました。太政大臣は、いつも置かれていたわけではありませんが、平安時代には天皇にかわって政務をとる摂政や関白の地位にもつくようになりまし

た。今の日本の行政組織に置き換えるには無理がありますが、内閣

総理大臣と内閣府といったところでしょうか。

### 【太政官の位置と配置】

太政官は、平安宮の中央、朝堂院のすぐ東側に設けられ、北側の中務省、南側の民部省などとともに並んでいます（図一、図二参照）。大きさは、東西五七丈（約一七〇メートル）、南北四〇丈（約一一九メートル）で、まわりは築地で囲まれ、各々の面に門が設けられていたようです。現在の住所表示では、上京区主税町にあたり、おおよそ東を美福通、西を土屋町通、南を竹屋町通、北を郁芳通に囲まれる区域となっています。

史料から推定すると、太政官内には、正庁が敷地中央に置かれ、

その前面、左右対称に東庁と西庁が設けられ、正庁とは複廊で結ばれていたようです。これらの建物や廊は基壇上に建っていたようです。これとは別に、北西部に勘解由使、南西部に文殿、北東部に曹司および厨、正庁の東には朝所、西には造書司と呼ばれる区画があったようです。勘解由使は、延暦一六年（七九七）に官人の交代を監督するために新たに設けられた部署です。朝所は、参議などが会食や政務を行った場所です。内裏焼亡の際には、天皇の御座としても使われています。

### 【太政官の発掘調査成果】

太政官内部の様子は、史料からおおまかな区画や建物の配置を知ることができますが、実際には大小様々な建物が置かれていたでしょうし、焼亡による建て替えや新たな部署の設置などもあり、変遷があったことがわかります。その実態を知るには、やはり発掘調査による成果をまたねばなりません。当研究所が発足して三〇年が経ちましたが、この間、太政官の推定区域で実施した発掘調査は一〇件（図三参照）で、他に試掘



図1 平安宮復原図置



図2 平安宮模型（京都アスニー展示）

調査や立会調査があります。

**調査一・二** 調査一は一九七七年に実施した調査で、砂礫を積み土した土壇状の高まりが見つかりました。この土壇は、北側の一九七八年に調査した調査二にも続いていることがわかりました。

**調査三** 一九七八年に実施した調査で、太政官の西端を区切る南北方向の築地とその内外で溝が見つかりました(写真一参照)。内外の溝の間は約四・五メートル(一丈五尺)あり、これは『延喜式』に記載されている大路に面する築地の寸法規格とほぼ一致しています。およそ幅二メートル弱高さ四メートル強の瓦葺きの築地で囲まれていたことがわかります。内溝の一部には、凝灰岩を使用して護岸した部分もあります。この内溝付近は、何度も造り替えがあったようで、土壇や溝が重複しています。これらからは、平安時代前期から中期にかけての土器や瓦(写真六参照)がたくさん出土しています。

ます。太政官と朝堂院との間の道路には平安時代後期の瓦溜めが複数据えられていました。

また、この調査では、太政官跡の下で古墳時代後期の溝(写真二参照)が北東方向から南西方向にむかつて掘られていることがわかりました。平安

宮が造られる以前にこの地に人々が生活していたことが実証されました。

#### 調査四

一九七九年に実施した調査で、朝所推定地南部にあたります。この調査では、東西方向の溝が見つかっています。中からは、平安時代中期の土器などが出土しています。

**調査五** 一九八〇年に実施した

調査で、太政官とその北側の一画をしめる中務省との間の道路推定地にあたります。ここでは、落込みが見つかり、中から築地に葺かれたものとみられる多量の瓦が見つかっています。

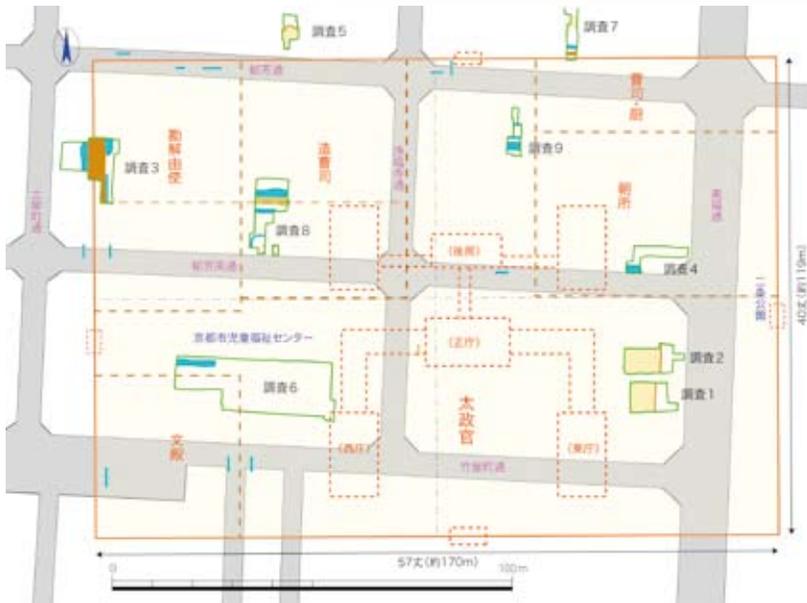


図3 太政官復原図

不動産高価買取宣言！

不動産屋をお探しですか？



京都プラン株式会社

〒603-8303  
京都市北区紫野十二坊町31番地  
TEL 075-462-0017  
URL <http://www.kyotoplan.jp>

売買・リフォーム・賃貸管理・不動産運用

歴史文字シリーズ

伝達浪漫



「ハゲタカの碑」—権力のしるしとして、手にして敵を屈服させると記されている。

和光印刷株式会社

〒602-0012 京都・烏丸通上御雲前上ル TEL.075-441-5408代  
E-mail:info@wako-print.co.jp

### 調査六 一九八〇年に実施した

調査で、文殿の推定地付近にありま  
ります。この調査では、東西方向  
の溝や土壙などが見つかっていま  
す。土壙の一つからは、平城宮式  
瓦を含む平安時代の前期から後期  
にかけての瓦が多量に出土してい  
ます。見つかった溝は、文殿の北  
側を区切る施設に関連するものと  
みられます。

### 調査七 一九八八年に実施した

調査で、太政官北面築地、外溝、  
路面、中務省南面築地外溝などが  
まとまって見つかりました（写真  
三参照）。太政官の外溝の北側肩  
口には杭を打ち込んだ跡が並んで



写真1 調査3（南より）西築地・内溝



写真2 調査3（南西より）古墳時代の溝



写真3 調査7（北より）北築地・外溝・路面



写真4 調査8（南より）「造曹司」築地

いたことから、護岸されていたこ  
とがわかりました。

### 調査八 一九八八年に実施した

調査で、太政官中央北西部の造曹  
司付近にあたります。この調査で  
は、東西方向の築地とこれの両側  
で溝、これらの南側では溝に囲ま  
れる土壇、さらに柱穴や土壙など  
が見つかっています（写真四参  
照）。築地基底部は版築はんちゆうしている  
ことがわかりました。これらは、  
重複して見つかったていることか  
ら、何回も造り替えが行われたこ  
とがわかります。また、溝や土壙  
からは、多量の平安時代前期の土  
器類や搬入瓦（写真五参照）など

が見つかっています。東西方向の  
築地は、造曹司の区画に係する  
ものとみられます。

### 調査九 一九八七年に実施した

調査で、正庁の北側で朝所付近に  
あたります。東西方向の数本の溝、  
土壙、落込みなどが見つかりまし  
た。ここでも重複して溝などが造  
られていることがわかりました。

以上の調査は、発掘調査で実施  
したのですが、これ以外にも周  
辺の道路で実施した下水道や上水  
管の敷設工事に伴う立会調査を数  
件実施しています。これらの調査  
でも、溝や土壙などが各所で見つ  
かっています。

## 【太政官の復原】

これらの調査を総合すると、太  
政官の範囲や内部の様子が少しば  
かりですがわかってきます。

まず、調査三で西端、調査七で  
北端が確定できました。この成果  
と、他の平安宮内の調査成果など  
を参考にして東端や南端も復原す  
ることができそうです。

次に、内部の様子ですが、残念  
ながら太政官中枢部の様子は調査  
成果からは知ることはできていま  
せん。おそらくは、主要建物は、  
基壇上に建っていたことから、削  
平を受けたものと思われます。今

後の調査に期待したいと思いません。

ただ、附属機関の区画を示す築地とみられるものが見つかっていません。調査六で見つかった東西方向の溝は、文殿（文書の保管倉庫）の北端を示し、竹屋町通の立会調査で見つかった南北方向の二本の溝は東端を示しているものとみられます。また、調査八で見つかった東西方向の溝と築地は造曹司に関係する区画施設とみられます。この西の延長が調査三にあたりますが、そこでは凝灰岩を並べて護岸した南北溝があり、ここに

築地が取り付いていた可能性があります。その他にも調査四や調査九で東西方向の溝が見つかっていますが、これらについては今のところどのような性格のものか不明です。

### 【まとめ】

太政官から出土する遺物は平安時代初期のものが多数あり、太政官が平安京遷都とともに機能していたことは明らかです。また、その後の造り替えなどを多々経ていることは、重複する溝や土壇、平安時代中期や後期の土器、瓦が多

数みられることなどから、うかがうことができます。

こうした調査の積み重ねと、新しい事実がわかった時点での復原案の作成を繰り返し行うことによつて、より確かな変遷と構造を明らかにしていきたいと思っております。

（財団法人京都市埋蔵文化財研究所 長宗 繁一）

### 訂正とお詫び

■前号（三十五号・平成二十年八月十五日発行）の訂正について  
前号（三十五号）十ページ最下段

の文中、「朝堂院は、東西約四七〇m、南北約一九〇mの広さがあり」とあるのは、「朝堂院は、東西約一九〇m、南北約四七〇mの広さがあり」の誤りでした。お詫びして訂正します。

## 永年の信用 まごころのご奉仕

### 葬祭センター

# 公益社

本社 京都市中京区烏丸通三条下る ☎075(221)-4000  
フリーダイヤル ☎0120-00-4200 <http://www.koekisha-kyoto.com>

#### ◆ 葬儀式場 ◆

公益社北ブライツホール(堀川黎明)	京都市北区黎明通堀川東入	☎ 075(414)0420
公益社中央ブライツホール(五条大和)	京都市東山区五条通大和	☎ 075(551)5555
公益社南ブライツホール(堀川八条)	京都市南区堀川通八条下西側	☎ 075(662)0042
公益社西ブライツホール(五条西大路)	京都市右京区五条通西大路西入南側	☎ 075(322)0042
公益社宇治ブライツホール(宇治横島)	宇治市横島町(文教大学前)	☎ 0774(20)0042
公益社滋賀ブライツホール(大津)	大津市朝日が丘1丁目	☎ 075(523)0042

# 黒田正玄家の竹工芸(上)



竹花入 園城寺写 三代正玄作

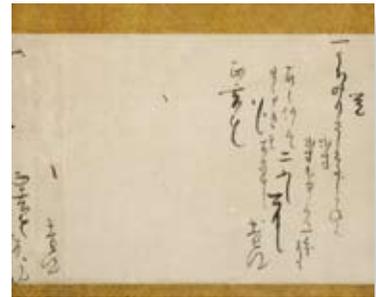
黒田正玄家は千家十職の一つで竹工芸を担当する家です。初代より八代まで徳川將軍家の御用柄杓ひしゃく師として竹細工を生業としてきました。今も十三代目の当代へと家業を継承しています。

初代正玄は天正六年(一五七八)、越前黒田郡黒田庄(現在の福井県三方五湖の近く)に生をうけ、名を七郎左衛門といいました。丹羽越前守に仕え、慶長五年(一六〇〇)関ヶ原の役には西軍に従軍して敗れたあと、剃髪して正玄と改名し、江州大津に移り住み、竹細工を生業としておりまし

た。二十三歳の頃のことです。豊臣秀吉から「天下第一」の称号を許されていた柄杓師いちあみ一阿弥に師事したといわれています。その後、小堀遠州に茶柄杓作りの名手と認められ、遠州の推挙で將軍家の柄杓師となりました。

一方、伏見奉行を勤める遠州のもとへ寒暑、雨雪もいとわず毎日通い、当時の人々より「日参の正玄」と呼ばれる程、熱心に茶を学びました。茶道に対する志は非常に深く、遠州の直弟子として茶道の奥儀を相伝されています。

遠州から大名に仕官するように



小堀遠州筆 初代正玄宛文

薦められました。が辞退し、薦めにしたがい三人の息子のうち長男の正悦を芸州の大守浅野家へ、次男の正圓を江州膳所の太守本多家に仕官させ、三男宗正に家職を継がせることにしました。

晩年は洛東の瓜生山麓うりめうに草庵を建て、詩仙堂を建てて移り住んでいた石川丈山じょうざん(一五八三—一六七二、漢詩人・書家)と親交を持ち、風月を友とし茶を楽しむ悠々自適の生活を送りました。丈山の筆になる「大津 茶ひしやく屋 正玄」の暖簾のれんが家に伝わり、また詩仙堂には八代正玄の寄贈になる石燈籠

しみじみと 心のかよう 贈りもの

<http://www.toraya-group.co.jp/>

とらや

歡送迎会・親睦会に最適な  
パーティープラン

紅梅 KOUBAI PLAN とうばいプラン ￥8,500 (お1人様料金/税・サ込)

お料理: 洋食/和洋折衷料理/洋コース料理  
お飲物: ビール、ワインなど9種類の中からお好みで6種類

※お料理はご選択ください。※ご利用は2時間30分です。※ディナー券プレゼント、当日宿泊ご優待など各種特典をご用意しております。  
※上記の他にも¥10,000/¥7,500のプランがございます。

ご予約・お問い合わせは宴会予約係 TEL:075-223-8484

地下鉄京都市役所前駅から徒歩で約1分

京都市役所前駅から徒歩で約1分 京都ロイヤルホテル & スパ

# みんなで花を 咲かそう活動

～上京区役所玄関前を飾る花々が冬の装いに～



昨年11月、日頃から水遣りや手入れに精を出すボランティアの皆さんの手によって、新しいプランターに植え替えられました。

色とりどりの花たちが、落ち着いた風合いのプランターに一層映え、来庁者や道行く人々の心を和ませ、まちの美化や環境改善にも一役買っています。

花の植替えや手入れをしていただけるボランティアの方を、引き続き募集しています。

お問合せは、区役所まちづくり推進課まで  
(電話441-5040)

が残されています。

また、大徳寺第百五十六世持江月宗玩に参禅し、その仲介で千宗且の柄杓も作り、その知遇を得たといわれます。同時代に生を共にした文化人との交流の印として、小堀遠州の正玄宛文、江月和尚柄杓の頌などが黒田家に伝来しています。正玄はまた竹細工を巧みとし、一重切花入 銘「帰雁」を残しています。初代は承応二年（一六五三）八月八日に七十六歳で没

しています。

家業を継いだ三男の宗正は父より茶を学び、遠州の推挙で三代将軍家光の柄杓師として御用をつとめます。その子孫は幕末まで柄杓師として将軍家の御用をつとめました。三代正玄より覚々斎や久田家三代宗全の御用をつとめ、千家への正式な出入りは三代の頃からと伝えられています。

五代正玄は八代将軍吉宗、表千家七代如心斎、裏千家八代又玄斎、

ぼたん鍋と  
京料理  
畑かく  
京・上御霊前烏丸西  
☎七五・四一・〇六一(代)

石川丈山筆 暖簾

武者小路千家直斎宗守の御用をつとめ、北小路室町の現在地に居を構えます。安永七年（一七七八）、七十一歳で没しました。  
(以降次号につづく)

—いつも新しい感動を—  
京都御所西、閑静な住宅街に溶け込むシックな外観。  
さわやかな水のせせらぎが聞こえ、  
やわらかな自然光がふりそそぐアトリウムロビー。  
7つの多彩なレストラン&バーで、  
ブライトン流のきめ細やかなサービスをお届けします。

〈客室〉183室  
〈レストラン&バー〉  
●京懐石「壺(はたる)」●鉄板焼「播(ひもろぎ)」  
●フランス料理「ヴィ・ザ・ヴィ」●テラスレストラン「フェリエ」  
●ラウンジ「クロー・オ・ミディ」●中国料理「花蘭(からん)」  
●メインバー「ムーンシャイナ」

京都市上京区新町通中立売(御所西)  
TEL.075-441-4411(代) FAX.075-431-2360  
ブライトンホテルズホームページ  
http://www.brightonhotels.co.jp/

本家 玉壽軒

〒602-8435 京都市上京区今出川大宮東入  
TEL (075) 441-0319・414-0319



# 上京茶会

上京区文化振興会創立50周年記念

恒例の秋の「上京茶会」が、十二月十六日、叡昌山本法寺にて裏千家の懸釜により開催されました。

本法寺の建造には本阿弥光悦が深く関わっており、寺は光悦など本阿弥家の菩提寺にもなっています。

当日は朝から雨となりましたが、光悦作による名勝「三つ巴の庭」に降る雨にもまた風情があり、貴重な文化財の数々の中、お茶を味わいながら心静かな時を過ごすことができました。



# 第44回 上京新能

たぎきのう

上京区文化振興会創立50周年記念

今回で第四十四回目となる「上京新能」が、九月十九日、金剛能楽堂において開催されました。

第一部では、各社中による舞囃子、仕舞、琴の演奏が行われ、清祇の儀に始まる第二部では、いちひめ雅楽会舞楽「青海波」、宮城社・麻ノ会琴「初鶯」、金剛流舞囃子「玉葛」、大蔵流狂言「盆山」、観世流能「葵上」等が演じられました。

台風十三号の接近により、会場を変更しての開催でしたが、例年とはまた違った趣の中、多くの来場者が伝統芸能を堪能しました。

上京区イベント

## 上京区民ふれあいまつり2008

「上京区民ふれあいまつり2008」が、10月18日に新町小学校にて開催されました。

当日は晴天に恵まれ、各学区・団体による模擬店や遊びコーナーは大盛況となりました。

また、特設ステージでは、新町小学校児童によるバトン・音楽演奏や上京中学校生徒による吹奏楽演奏のほか、和太鼓や大道時代劇ショーなどがくりひろげられ、会場に集まった子どもからお年寄りまでのたくさんの区民の皆さんが互いにふれあう楽しい一日となりました。



## 上京区民

# ふれあい文化大学

多様な文化への関心を高めることを目的に、「上京区民ふれあい文化大学」が十二月二日、ホテルビノ京都堀川にて開催されました。

今回は、源氏物語千年紀を記念して、「紫式部が生きた時代」上京の史跡にふれて」と題し、同志社女子大学特任教授・腕谷寿氏に講演をしていただきました。

ユーモアあふれるお話の中に、区内の身近な史蹟もたくさん登場し、上京の歴史の深さを再認識できる講演会となりました。



## 上京区民ふれあい史蹟ウォーキング

11月30日、「上京区民ふれあい史蹟ウォーキング」が秋深まる好天の中、開催されました。

今回は、京都御苑榎木口をスタートし、九条池、平安女学院、京都府庁、伊藤仁斎宅跡、蛤御門、白雲神社を巡り、京都御苑榎木口まで戻る約3キロを歩きました。

参加者は、平安女学院明治館など、それぞれの史蹟の説明を受けながら、紅葉の中、心地よいウォーキングを楽しむことができました。



## 上京区人権月間「講演のつどい」

十二月の人権月間にあわせて、十二月十日、同志社大学寒梅館ハーディーホールにおいて人権講演会が開催されました。

今回は、講師に歌手の叶れい子氏をお招きし、「元祖オローラ輝子の親不孝人生〜お母さん生んでくれてありがとう〜」をテーマに講演をしていただきました。

御自身の体験談や歌をおり交ぜながらの情感あふれる語り口は、参加者の感動を呼び、心に残る講演会となりました。



宴会・婚礼・会議  
宿泊・レストラン

あじわい

¥5,000(税込)

ホテル

# ルビノ京都堀川

〒602-8056 京都市上京区東堀川通下長者町  
TEL 075-432-6161(代) FAX 075-432-6160  
<http://www.rubino.gr.jp/>



レストラン  
11:30~14:00  
毎週日曜日はお得な  
ランチバイキングを  
しております  
おひとり  
¥1,200(税込)



## 名物ゆどうふ 南禅寺 **とらふ**

JUNSEI  
左京区南禅寺門前 電話 075-761-2311  
<http://www.to-fu.co.jp>

## 酢一筋の商い、伝統の滋味。

きょう 伝統からあしたへ

京・西陣 孝太郎の酢

### (有)林孝太郎造酢

京都市上京区新町寺ノ内上ル東入道正町455  
TEL (075) 451-2071  
FAX (075) 451-8028



「上京史蹟と文化」は上京区役所まちづくり推進課で販売致しております (TEL 441-5040)

花にまつわるエピソード...



季節も添えて演出します。

心のこもった贈り物 Flower Gift

~花束

アレンジメント  
グリーンバスケット  
スタンド花 etc. ~

フラワーアレンジメント教室 開催中!

本店 京都市上京区烏丸通今出川下ル tel 075-414-8700  
fax 075-414-7787  
フリーダイヤル 0120-46-8700

西院店 京都市右京区西院東浄和町 1-1 tel&fax 075-323-1387  
長岡店 長岡京市 1丁目ゼン通り tel&fax 075-957-0187  
大津店 大津市萱野浦ロイヤルオークホテル内 tel&fax 077-545-5587

本店2FにてCafeも営業しております。 <http://www.hanakobo.co.jp>



創立以来七十余年に  
わたって、  
和やかな家庭的な  
雰囲気にもまれつつ  
就学前教育の  
本流をめざして、  
保育を続けて  
参りました。  
幼児たちは  
楽しい遊びを通して、  
人生に必要な生きる  
力のすべてを手に入れます。

### 学校法人 北野幼稚園

京都市上京区御前通一条下る (北野天満宮バス停下車南100m)

TEL.463-0111(代)

[http://homepage3.nifty.com/kyotokitano\\_k/](http://homepage3.nifty.com/kyotokitano_k/)

京料理  
京都 祇園  
◎昼の膳  
八坂(点心懐石)三、四六五円  
白川(ミニ懐石)四、六二〇円  
鴨川(懐石料理)五、七七五円  
◎夜の膳  
祇園... 一、五五〇円より  
(各々税込)



# 花郷

はなさと

いつまでも健康に——。  
サン・クロレラ

# 安全真話

安心のために。伝えたいのは「真実の話」です。



サン・クロレラAは日本製法特許No.3143636、  
米国製法特許No.5330913を取得しています。

食品の安全性に対する「神話」が崩れだしている現在…。消費者の皆様が目厳しくなる中で、私たちはあえて伝えたいことがあります。創業以来、品質にこだわり続けたサン・クロレラは「安全」に対する厳しさを知っているということ。その結晶のひとつが「サン・クロレラA」。すべてを自社責任のもとに開発から製造まで管理し、GMP認定工場\*で厳重な検査のもとに生産しています。さらにお届けに関しても自社グループにより直接お客様のお手元へ。製品の正しいご理解と安心してご利用いただくためのアフターフォローも行っています。おかげさまで約40年にわたってご愛顧いただき、お客様は日本だけでなく世界の国々へと広がっています。もし品質にわずかな不安でもあれば、これほど長い間にわたり愛され続けることはなかったでしょう。安全のために努力を惜しまないという「真実」。これこそがお客様の求める「安全真話」に応えられる理由です。

\*財団法人日本健康・栄養食品協会のGMP基準に合格した認定工場。



サン・クロレラAは日健栄協に認定されています。

財団法人日本健康・栄養食品協会の認定マークは、品目別規格基準に基づき、協会の厳正な審査をパスした製品に対してのみその表示が許可されたものです。サン・クロレラAの製造工場はISO9001の認証を取得しています。